

日頃の訓練の成果を競う

第57回

鳥取県西部消防ポンプ操法大会



▲福島さんが選手宣誓

大山町消防団が、6月7日(日)に鳥取県消防学校(米子市)で行われた「第57回鳥取県西部消防ポンプ操法大会」に出場しました。

開会式は、大山町消防団綿田副団長の号令ではじまり、名和分団の指揮者、福島裕二さんが団員の気持ちを力強く伝える感動的な選手宣誓を行いました。

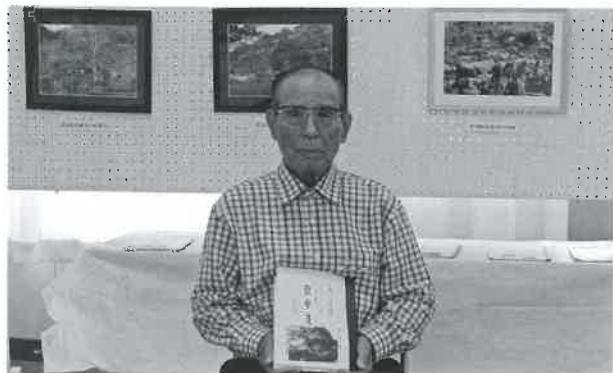
大会はポンプ車操法の部(参加チーム9チーム)と、

小型ポンプ操法の部(参加チーム3チーム)で消防操法技術が競われ、大山町はポンプ車操法の部に、中山・名和・大山の旧町村ごとに各1チームが出場しましたが、今年には惜しくも上位を逃しました。

消防団員は、町民の安全・安心を守るため、日々訓練を重ねて活動しています。



▶森田町長にバラを贈る大原さん(右)



▶作品を手にする汐田さん

かあら山で趣味の作品展

旧高麗保育所を活用した「ふれあいの郷かあら山」で、汐田淳市さん(妻木)のエッセイと写真を展示した「大自然の光&エッセイ集」が6月5日～29日まで開かれました。

日常のほのぼのとした出来事や思ったことを書き留めていたのを友人のすすめで、新聞の読者ページに投稿したことがきっかけとなって作品を綴り始めた汐田さん。途中から挿絵がわりにと写真も撮るようになり、綴られたエッセイ集「散歩道」(平成11年～23年)は、いつしか40号にもなりました。

写真は漁港の夕焼けや地域の民俗行事、旅先での思い出の写真など36枚を展示。「たくさんの方が見に来てくれてうれしい。80代になったが、いい題材があれば何でも撮りたい。発表する場があるのはありがたいこと」と次回(来年)作品展に向けて意欲的でした。

プレゼントに バラはいかが？

「父の日」にバラを贈る習慣を広め消費拡大につなげようと、米子地区花き生産者協議会バラ部会が、バラ生産者の住む市町村にバラの花を贈っています。

6月17日(水)、テレサ、ノブレス、サムライ80など生産者が丹精込めて育てたバラを、同部会長の大原広巳さん(所子)が森田増範町長にプレゼントしました。

大原さんは「出荷量が一番多い6月のバラは品種も豊富。父の日に感謝の気持ちと一緒に贈ってもらえたらうれしい。いろいろな記念日のプレゼントにも使ってほしい」と話されました。